

# 第10回 江別市かわまちづくり勉強会

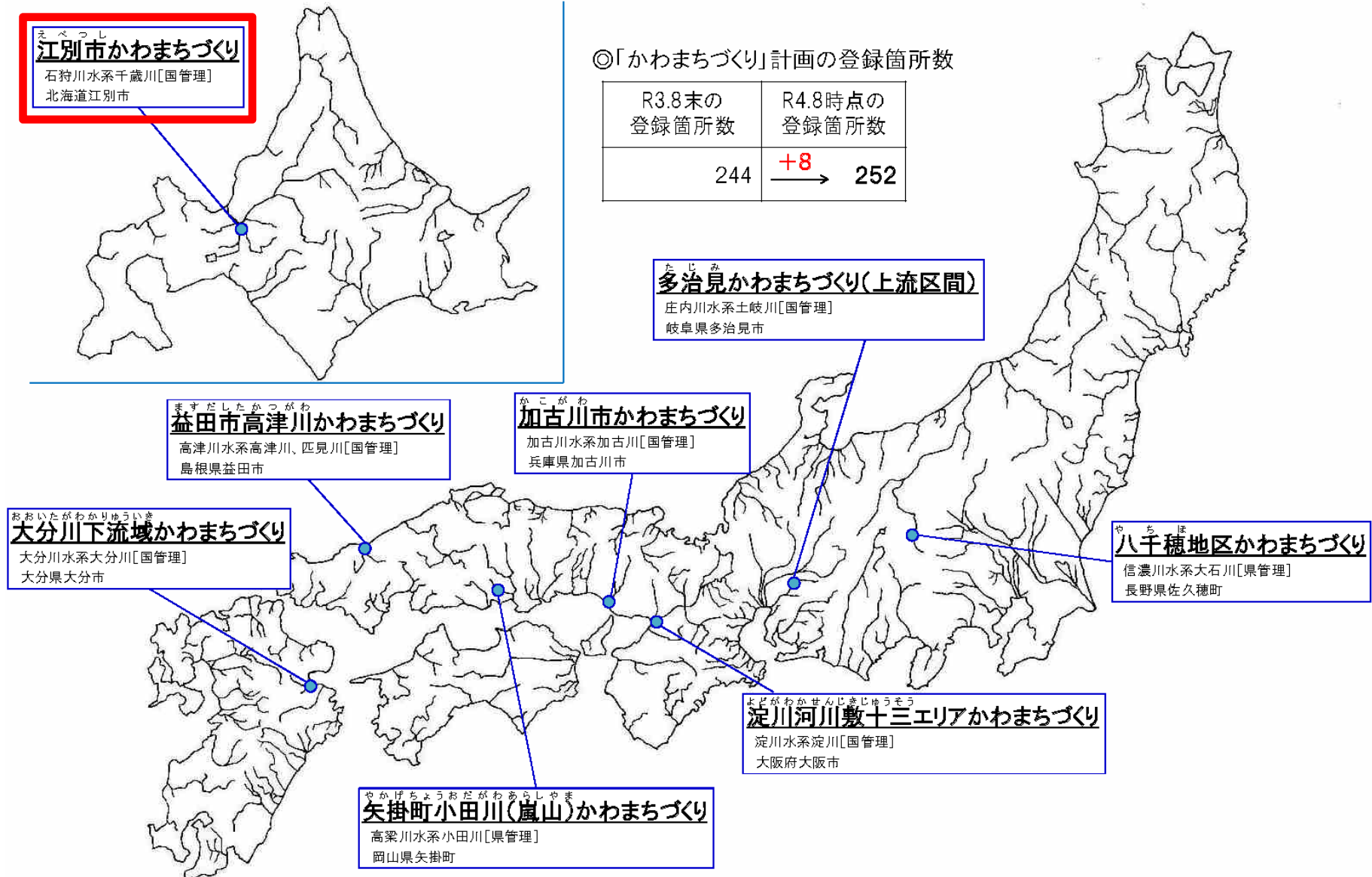
令和4年9月1日

江別市

1. かわまちづくり計画の登録
2. 前回勉強会の振り返り等
3. 意見交換
4. その他

# かわまちづくり計画の登録①



## 令和4年度「かわまちづくり」計画の新規登録箇所

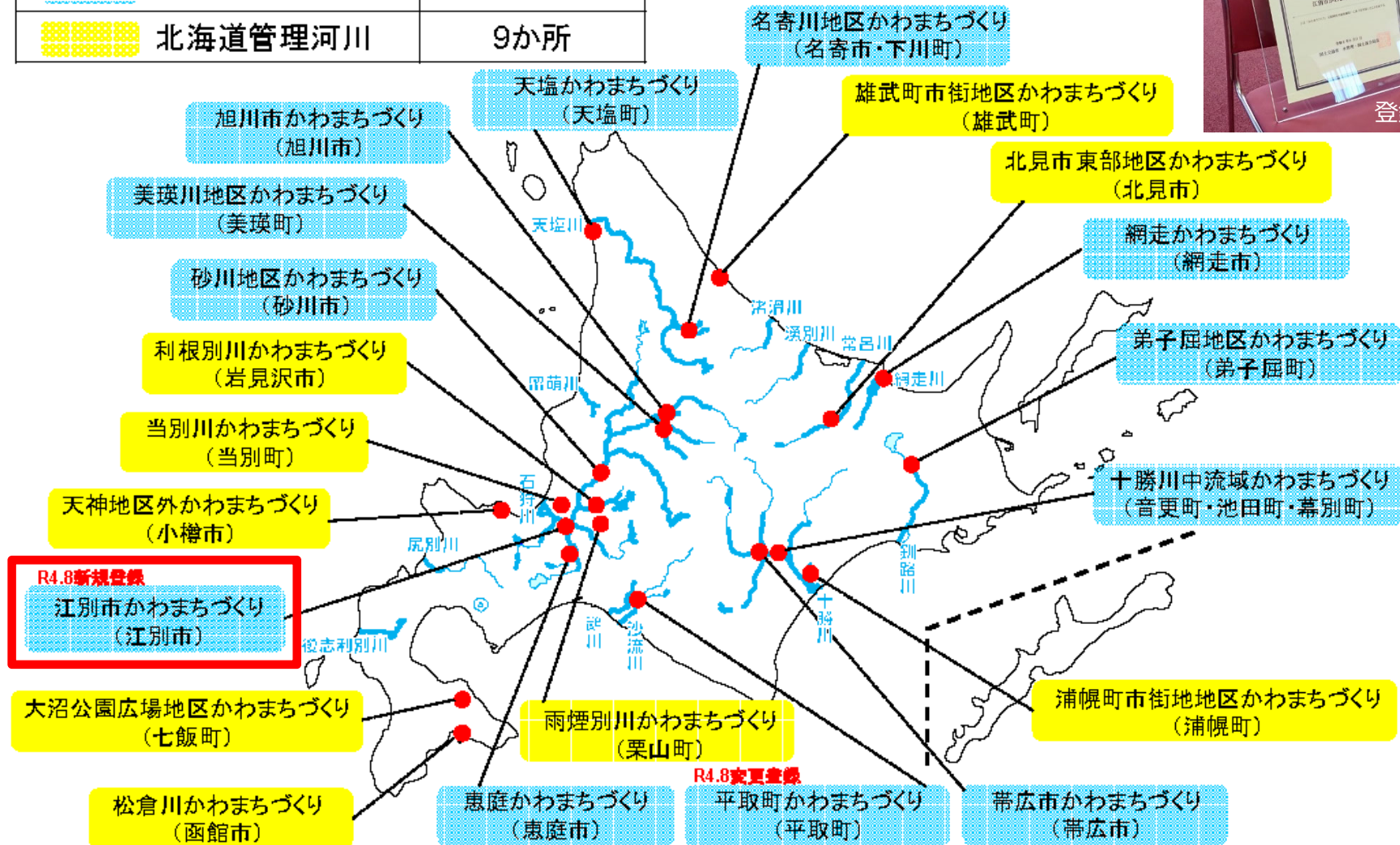




# かわまちづくり計画の登録②

## 北海道における「かわまちづくり計画」の登録箇所

	R4.8.9時点
 国管理河川	12か所
 北海道管理河川	9か所





江別市条丁目地区・大川通地区と千歳川が一体となった水辺空間の活用、条丁目地区内の歴史的建造物の活用、周辺地域との連携、条丁目地区の歴史・文化の発信を推進し、江別港を中心に舟運で栄えた江別市条丁目地区の歴史性を活かした新たな「条丁目スタイル」の観光・まちづくりによる賑わいの創出により、条丁目地区・大川通地区を含む江別市の地域活性化に寄与することを目指す。

## 【目標】

地域に愛され、観光客等の外部の人間にとっても魅力的な「かわまち」  
(水辺とまちをつなぐ人の流れや河川空間の賑わいの創出)

## &lt;誰のために&gt;

- ・ 条丁目地区の住民
- ・ 子育て世代
- ・ 条丁目地区を愛する人
- ・ 観光客

## &lt;どこで&gt;

- ・ 水辺空間
- ・ 外輪船及び母屋
- ・ 条丁目地区
- ・ 周辺地域

## &lt;何をする&gt;

- ・ 水辺の利活用
- ・ 歴史的建造物の活用
- ・ 周辺地域との連携
- ・ 歴史文化の発信

舟運で栄えた歴史性を活かした新たな“条丁目スタイル”の観光・まちづくり

# かわまちづくり計画の概要② ソフト施策内容

地域のニーズに沿ったソフト施策の実施による魅力向上と地域のブランドイメージ定着を図ることにより、地域に愛され観光客等の外部の人間にとって魅力的な「かわまち」を目指す。

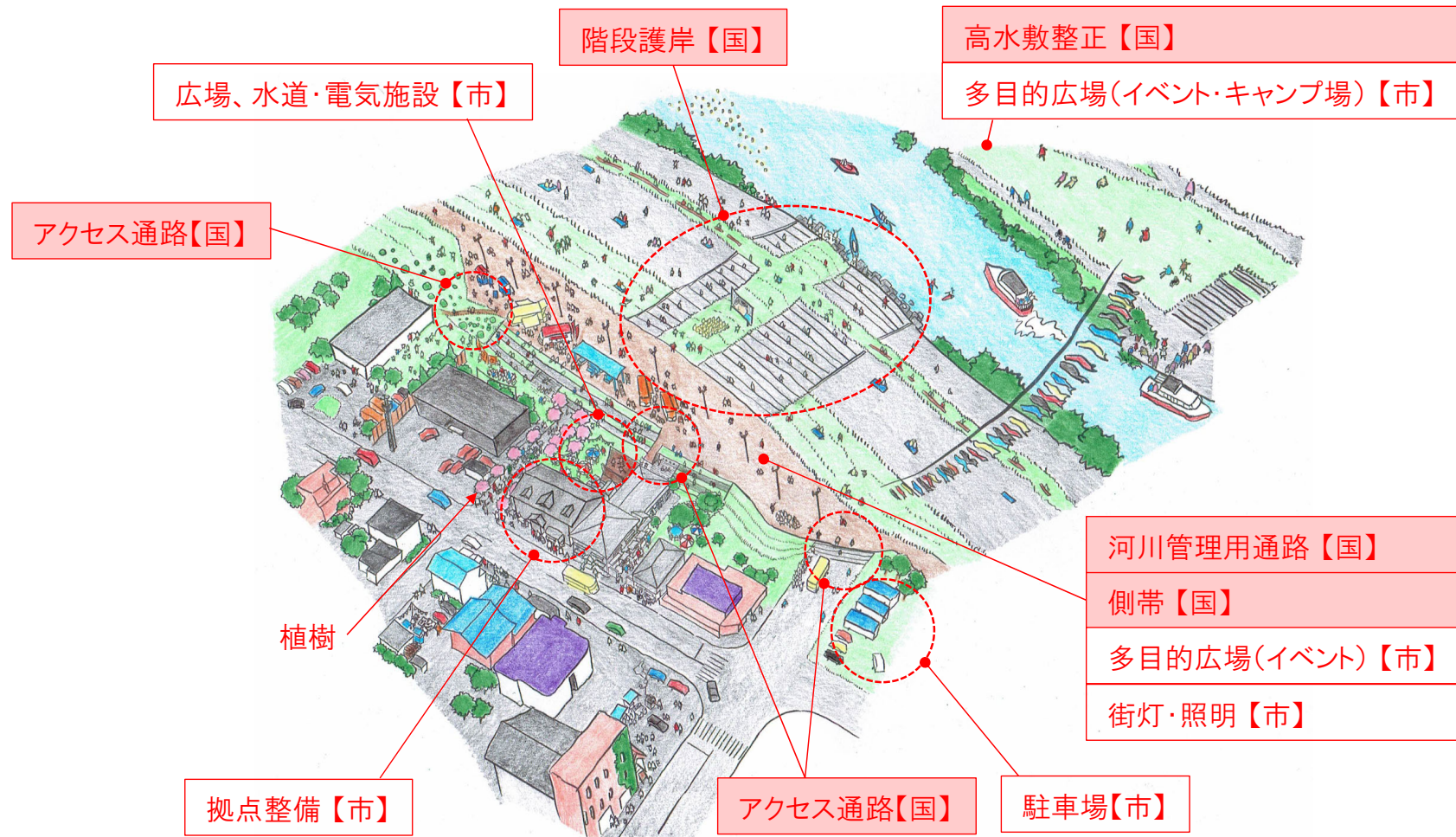
- ①千歳川の水辺空間を活用した新たなイベントの企画  
(夏の灯籠流し・いかだ下り、水辺でのやきもの市、キッチンカーによる飲食販売等)
- ②冬のイベント・アクティビティプランの設定  
(河川管理用通路沿いのアイスクャンドル、堤防沿いの緩斜面を利用したそり滑り等)
- ③広域観光周遊モデルコースの設定  
(市民が日常的に利用可能な散歩・ジョギング・サイクリングコースの設定等)





## かわまちづくり計画の概要③ ハード施策内容

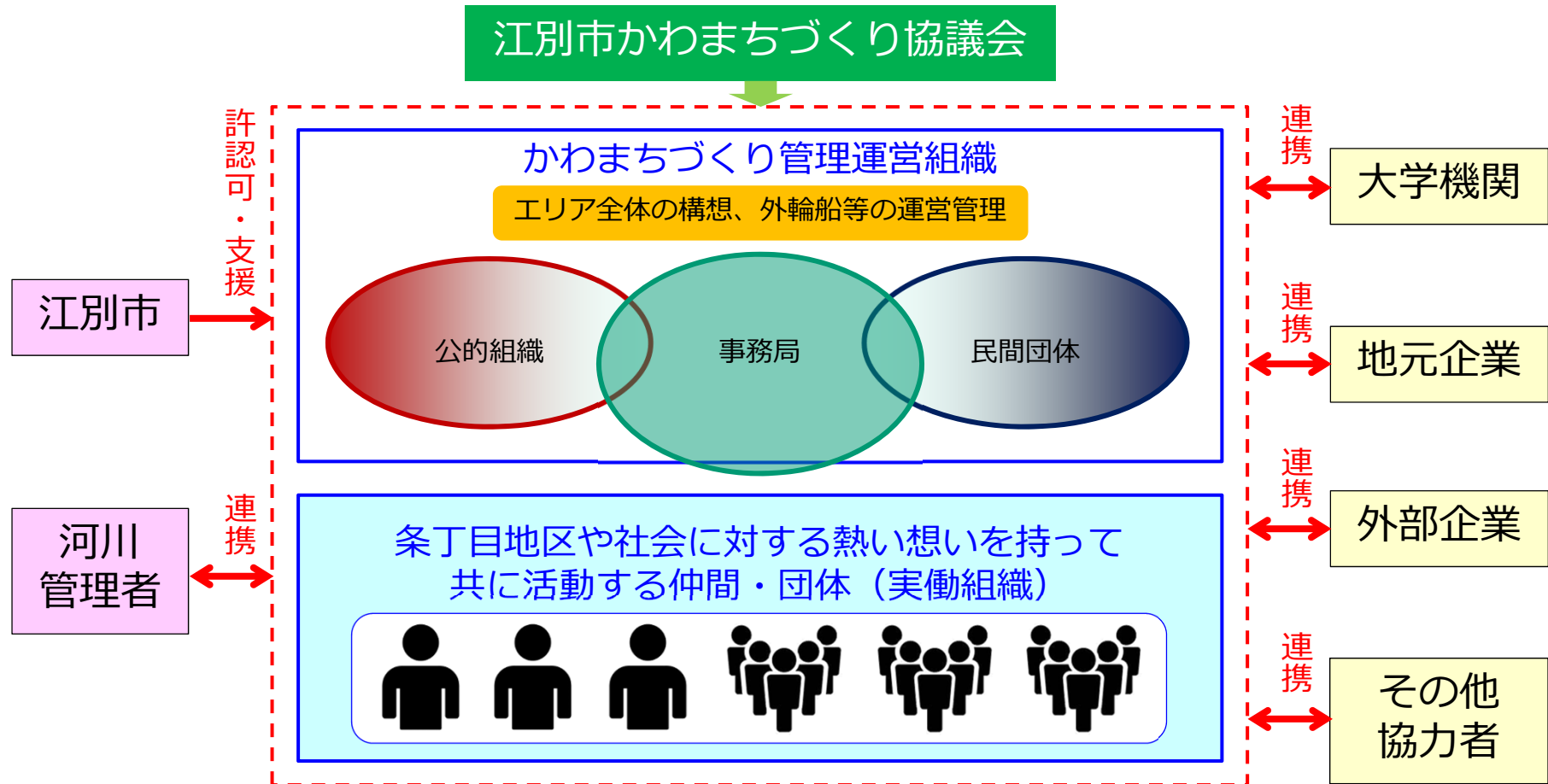
外輪船を条丁目地区・大川通地区における地域観光・まちづくりの拠点に位置づけ、地域の歴史・文化・観光等に関する情報を発信するとともに、市民に日常的に水辺を利用してもらい、水辺とまちをつなぐ人の流れや河川空間の賑わいを創出するため、江別市条丁目地区・大川通地区の水辺整備を実施する。



※赤地は河川管理者、白地は自治体・推進主体の整備区分



江別市、学識経験者、地元関係者等からなる「江別市かわまちづくり協議会」を設立し、江別市街築堤整備に伴い移設を要する外輪船の利活用方法等について検討するとともに、外輪船周辺の河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す取組について協議してきた。今後、民間事業者を加え、事業を遂行する実行組織の発足をを目指す。



# 第9回勉強会の議事内容等

## 第9回 江別市かわまちづくり勉強会

日時：令和4年6月30日（木）18:00～20:30

【第一部：現地視察】 15:00～16:00

- ・江別河川防災ステーション等の説明
- ・現地視察（石狩川・千歳川合流点付近等）

【第二部：現地視察】 18:00～20:00

### 1. 議題

- ・勉強会・支援制度への申請までの流れ
- ・前回勉強会の議事内容等
- ・かわまちづくり計画の内容説明
- ・長期及び今年度のロードマップ（案）
- ・かわまちづくりに関連する取組状況の報告

### 2. かわまちづくりに関するグループワーク

対岸側河川空間の利活用について  
「どんなことができそう？」 「実現させるためには？」



## 江別市かわまちづくり勉強会

## NEWS LETTER

Vol.09

2022.7.6

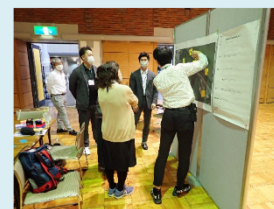
### 第9回勉強会 報告：6/30（木）開催

旧岡田倉庫の利活用と条丁目地区のかわまちづくりに関する協議を行うために設立された「江別市かわまちづくり協議会」のワーキンググループとして勉強会を開催しました。

午後に条丁目地区対岸の江別河川防災ステーション付近の現地視察を行った後、夜からの勉強会で、江別市から前回勉強会の振り返りや国土交通省に申請した「かわまちづくり計画書」の概要説明等を行い、その後参加者全員で条丁目地区対岸の河川空間の利活用について「どんなことができそう？」「実現させるためには？」というテーマでグループワークを行いました。

今後も色々な方々と議論を重ねながら、条丁目地区を元気にしていきたいと思っております。

### グループワークの発表内容



### ●グループワークの概要

①石狩川・千歳川合流点付近の利活用、②江別河川防災ステーション付近の河川敷の利活用、③千歳川の水辺利用・アクティビティ、④条丁目地区との連携 といった観点から活発な意見交換が行われ、「キャンプ場」「ダンス・演劇・オペラ」「シャボン玉・水遊び等の水フェスや音楽フェス」「親水公園やウォーターパークとしての整備」「防災体験・かわまちづくりスクール」「バードウォッチング」「風の強さを利用した風揚げイベント」「条丁目地区と対岸をつなぐ水中トンネル」「工場夜景」「試行的なイベント等の実施」等の意見が出ました。

### 江別市かわまちづくり勉強会って何？

千歳川と江別市条丁目地区の歴史や文化、人々のつながりを活かしながら、条丁目地区をより明るく元気するための「かわまちづくり」に関する勉強や意見交換をしています。

条丁目地区の未来を一緒に考えましょう！

次回勉強会は  
令和4年8月  
開催予定  
です！

【事務局】江別市役所商工労働課内

（電話）011-381-1023 （Eメール）shoko2@city.ebetsu.lg.jp



江別市  
Ebetsu City

## ＜対岸側河川空間の利活用について

「どんなことができそう？」 「実現させるためには？」 >

- 自分の家のすぐ近くで**非日常的な体験**ができるような新しい暮らし方を皆で体験したり提案したり、発信できる場所にしたらいいのではないかな。
- すごくいい場所だが、まだまだ使い勝手の悪さもあるので、まずは**地域の人たちがどんどん使えるような環境整備**をするのはどうか。
- ある程度騒音が出てても迷惑になる感じでもないんで、**キャンプ**で騒いでもいいし、**音楽フェス**みたいなことをやってもいいのではないかな。
- 川は見ているだけじゃなく水に触れられるようにしたいということで、水を引き込んで**親水公園**を作ったらどうか。
- 川を使って子どもの**遠足コース**にしてみようとか、防災ステーションで**歴史や防災を学びつつ、何か体験する**ような繋がりもあるのではないかな。
- 草むらと思ったら川だったり、川の流れがちょっと速くて過去に事故があったので、**景観や安全に配慮**する必要がある。
- オペラを観た子どもたちから演劇へのフィードバックがあるといった仕掛けがあると、日常と非日常がだんだん繋がってこの場所に蓄積されていくのではないかな。
- 市街地側からのアクセスが良好ではなく、国道12号の交通量も多いので、**ガードレール**や国道12号から下りられるような**アクセス階段**等ができるとう変わるのではないかな。
- あまり最初にお金を掛けなくて、そんなにぼろ儲けもしないけど、資金的にはちゃんと回っているというような仕組みができたらいい。



整備	分野				
	アウトドア	外輪船	教育・こども	歴史・文化	広報
ハードル 高	キャンプ フィールド	カフェ		川の 水族館	ネット ラジオ
			フリース ペース		かわら版
	カヌー クルーズ	コワーキ ング		ギャラ リー展示	広報誌 HP
ハードル 低	フット パス		幼稚園 保育園と の連携		まんまる 新聞

内容	R4	R5	R6	R7	R8	R9
かわまちづくり 協議会・勉強会	整備方針等の決定、管理運営方法・組織体制の検討					
	組織準備・試行運用		組織本格運用			
旧岡田倉庫（外輪船） 移設	調査・設計・解体		復元工事	倉庫運営開始		
水辺整備 （千歳川左岸堤防）	設計		整備			
水辺整備 （石狩川合流点高水敷）	設計	整備				
条丁目地区施設整備 （拠点整備、多目的広場、駐 車場、街灯・照明、水道・電 気施設、周遊コース、案内看 板）			設計	整備		

## 今年度のかわまちづくりロードマップ

	かわまちづくり協議会	かわまちづくり勉強会	その他
6月		第9回 ・大川通地区の現地視察 ・対岸側河川空間の利活用に関するGW (グループワーク)	かわまちづくり 計画申請
7月			
8月	第5回 ・計画登録報告 ・かわまちづくりの進め方の確認		かわまちづくり 計画登録
9月	第6回 ・対岸側河川空間の利活用・整備方針の決定	第10回 ・対岸側河川空間の整備・利活用に関するGW	
10月		第11回 ・旧岡田倉庫(外輪船)の利活用方法等 に関するGW	
11月	第7回 ・旧岡田倉庫(外輪船)の利活用方法等 に関する確認		
12月		第12回 ・旧岡田倉庫(外輪船)の利活用方法等 に関するGW	
1月	第8回 ・旧岡田倉庫(外輪船)の移設位置等決定		
2月		第13回 ・管理運営体制等に関するGW	
3月	第9回 ・管理運営体制&次年度勉強会の確認		



＜意見交換＞（100分）

➤ 「**今年度実施されたかわまちづくり関連イベントの振り返り**」

- ①かわまちづくり展示会
- ②ミスベリング江別キャンプ
- ③水辺で乾杯
- ④かわまちフェスタ

（かわまちづくりを運営していく上での課題は？）

➤ **休憩**（10分）

➤ 「**対岸側河川空間の整備・利活用イメージ**」

- ①前回勉強会での主な意見
- ②整備・利活用イメージ
- ③都市・地域再生等利用区域（河川占用）の制度・事例紹介

（対岸側河川空間の整備・利活用の具体化と運営体制・・・  
どう使う？どうやってマネジメントする？）

## ①かわまちづくり展示会（4/30実施）





## ② Mizubering Ebetsu Camp (6/12実施)





## ③水辺で乾杯（7/7実施）





## ④かわまちフェスタ（7/30～31実施）

2022 **かわまちフェスタ**

同時開催 真願寺で鉄道に触れよう！  
幼稚園児・保育園児の鉄道塗り絵、江別にゆかりある鉄道模型の展示、江別の歴史を写真と共に語り合う ※真願寺（江別市7条8丁目6）  
7月30日・31日

**べんてんまるののってみよう**

7月30日・31日

ふねののって ちとせ川をたんけん  
クイズにちょうせんして  
川はかせをめざそう！

事前申込はこちらから →  **【無料・事前予約制・先着順】**  
申込期限7月27日 対象：5歳～小3（身長110cm以上）

**Eボートで川くだり**

Eボートにのって 川くだりしよう！  
インストラクターさんがいるから  
はじめてでも安心！

7月30日のみ

事前申込はこちらから →  **【無料・事前予約制・先着順】**  
対象：小学生～（身長110cm以上） 申込期限7月27日

**瑞穂のしずく販売会**

7月30日・31日

300本限定!!  
1本 500円(税込)

江別産の酒米と江別神社の御神水で作った瑞穂のしずく。江別駅開業140周年記念ラベルで販売します。  
日時：30日10：00～16：00  
31日10：00～15：00  
場所：江別駅を出てすぐ



主催：北海道情報大学・藤本ゼミ  
【問合せ】 fujimoto@do-johodai.ac.jp  
協力：国土交通省江別河川事務所  
（一財）石狩川振興財団

北海道の水辺の観光情報サイト  



区分		概要	対応方針（案）
共通		非日常的で新しい暮らし方の体験・発信できる場所の創出	施設設計・利活用方策検討時に考慮
		非日常と日常の接続（日常から非日常へのフィードバック）	施設設計・利活用方策検討時に考慮
		景観・安全・漁業への配慮	施設設計・利活用方策検討時に考慮
		使用基準の明確化	今後勉強会で検討を予定
整備	全般	現状の有効活用	施設設計時に考慮
		地域の人たちが自由に使用できる環境整備	施設設計時に考慮
	親水整備	親水公園（河川水の導水・浄化）	親水施設として今後検討
		浮島（舞台・ワーキングスペース）	必要に応じて今後議論
	アクセス整備	国道12号からのアクセス階段・ループ橋	必要に応じて今後議論
		吊り橋・水中トンネル	必要に応じて今後議論
利活用	全般	移動式の施設による実験的なイベントの実施	今後勉強会で検討
		必ずしも水に接しない遊び方	利活用方策検討時に考慮
		地元の良さを子どもに伝える学びの空間としての利用	遊び場・イベント、自然散策等を今後検討

区分		概要	対応方針（案）
利 活 用	高水敷利用	キャンプ	アウトドア利用を今後検討
		音楽フェス・音楽練習	芸術利用を今後検討
		水フェス（シャボン玉・水鉄砲）	遊び場・イベント、親水利用を今後検討
		凧揚げ・風で鳴る楽器のイベント	遊び場・イベントを今後検討
		ライブ・オペラ・ダンス・演劇（防災ST船着き場）	芸術利用を今後検討
	水面利用	花火大会（船上での観覧）	水面利用を今後検討
	環境・体験・ 防災学習	遠足コース	自然散策等を今後検討
		防災ステーションでの歴史・防災体験	利活用方策検討時に考慮
		自然体験・バードウォッチング（宿泊）	自然散策等を今後検討
	その他	サイクリングとの連携	利活用方策検討時に考慮
運営その他	資金循環のスキーム構築	事業スキーム検討時に考慮	
	収益還元等をマネジメントする組織の設立	事業スキーム検討時に考慮	
	王子製紙との連携（工場夜景）	利活用方策及び事業スキーム検討時に考慮	



## 【方針】

来訪者による対岸側河川空間のフレキシブルな利活用とそのためにより必要となる施設整備の実施



## 対岸側河川空間の機能・目的

- 水辺の親水性向上
- 水面の有効活用
- 非日常空間の提供
- 地域の多様なニーズに対応した場の提供
- 環境教育等の場の提供
- 文化芸術活動の支援

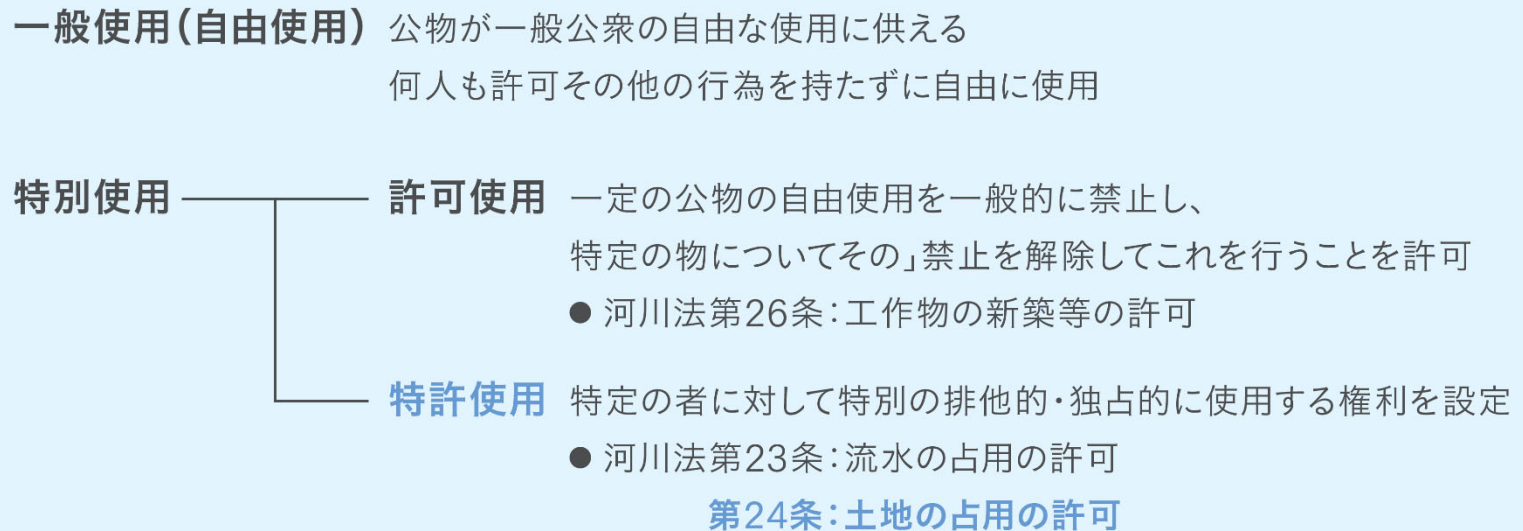


# 河川利用について

基本的に千歳川は公共用物であり、自由に利用できるものの、自由使用の範囲を超えて排他的・継続的に使用する場合は、河川管理者の許可を受ける必要がある。

河川敷地を占有※する場合は「河川敷地占有許可準則」に基づく許可手続きが必要となるが、占有の考え方や手続きは河川管理者の自由裁量で行われている。

## 公物の使用関係



出典：国土交通省ホームページ (<https://www.mlit.go.jp/river/kankyo/main/kankyau/machizukuri/pdf/tebiki.pdf>)

### ※占有について

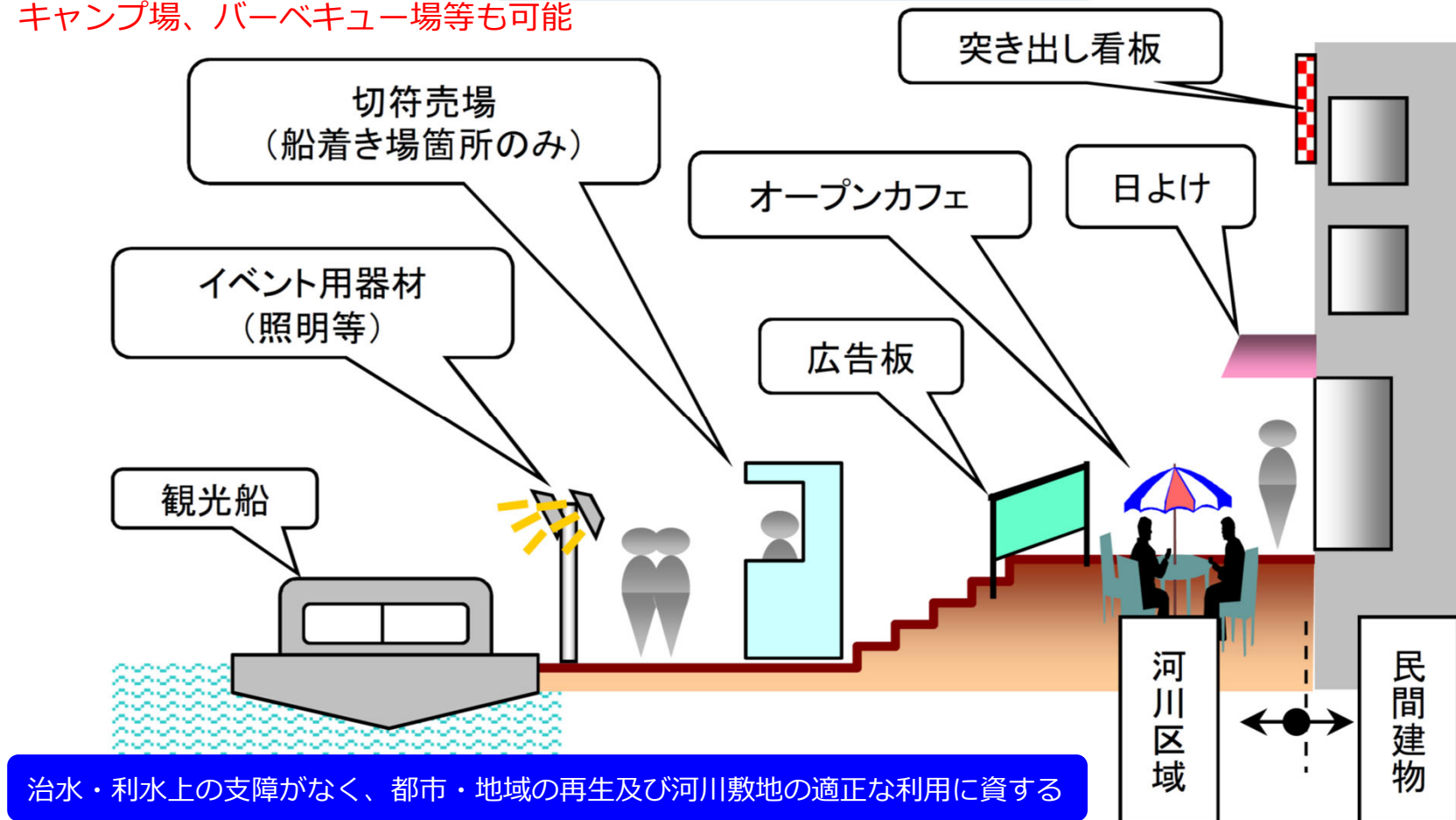
河川敷地に施設等を設置し、敷地内を独占して使用することを意味する。

占有が認められる施設は、治水上や利水上の支障がなく、他者の河川利用を著しく妨げないものとし、河川周辺の土地利用、景観等を損なわず、かつそれらと調和したものでなければならない。また、河川整備計画等の河川の整備、保全又は利用に係る計画が定められている場合は、その計画に沿ったものでなければならない。

河川敷地については、原則的に自治体等の公的主体にのみ許可され営業活動を行うことができないが、平成23年の河川敷地占用許可準則の改正により、多様な主体による賑わいのある水辺空間の創出に資するため、特例として地域の合意が得られた場合に、占用主体及び占用施設を緩和してオープンカフェ、売店等の営業活動を行う事業者等（民間事業者等）についても占用を許可することが可能となった。

これにより、水辺のオープンカフェや川床、イベント広場等による多様な利活用が推進されている。

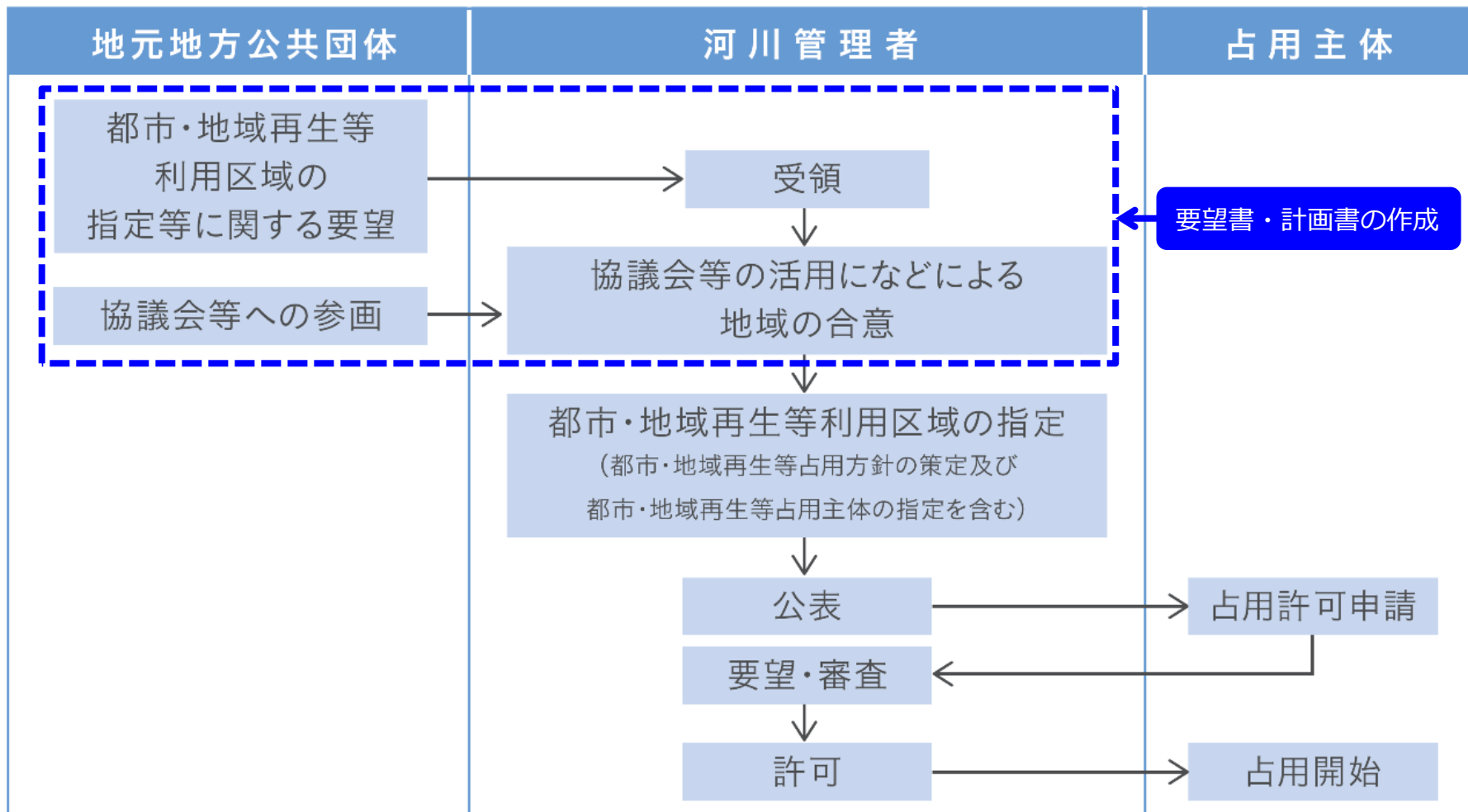
広場、キャンプ場、バーベキュー場等も可能





事業者等による河川敷地の利用にあたっては、河川管理者が「都市・地域再生等利用区域」を指定することになっている。

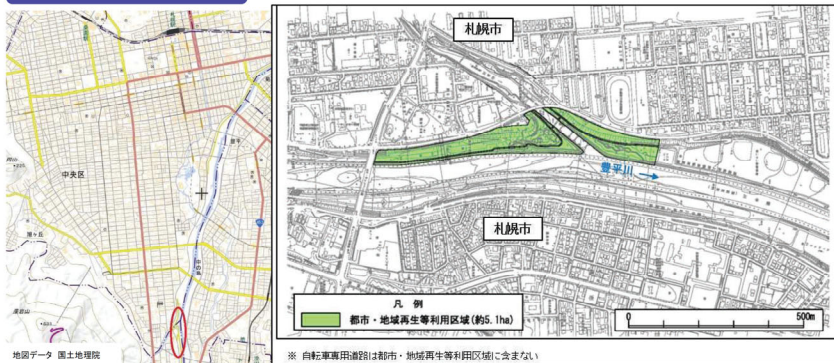
平成28年の河川敷地占用許可準則の改正により、民間事業者等への占用許可期間を「3年以内」から「10年以内」に延長している。



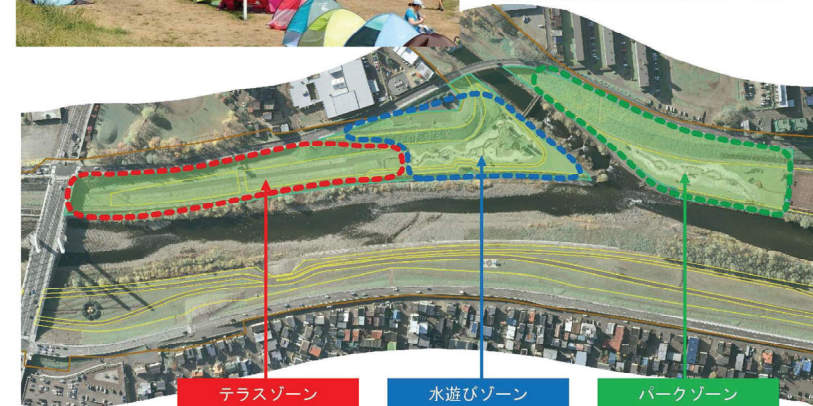


区域名称	豊平川ウォーターガーデン
概要	札幌市の公園緑地「豊平川ウォーターガーデン」を中心として、自然とのふれあいの場や子育ての場としての機能充実と活用促進を図るため、環境教育等のイベント開催、飲食物の販売等を実施する。
河川管理者	北海道開発局長
水系名・河川名	1級・石狩川水系・豊平川
指定範囲	札幌市中央区南26条西7丁目395-9～ 南区南30条西8丁目510-1地先
指定日	R2.1.27
占用主体	札幌市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道その他都市及び地域の再生等のために利用する施設（公園緑地）、これらと一体をなす飲食店・売店・オープンカフェ・照明音響施設・日よけ等
合意方法	豊平川利活用協議会
許可期間	10年
関連URL	北海道開発局HP <a href="https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kengyou/ud49g700000081ty.html">https://www.hkd.mlit.go.jp/ky/kn/kengyou/ud49g700000081ty.html</a>

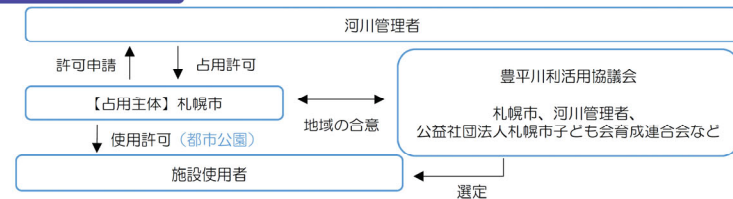
## 位置



## 水辺の様子



## 事業スキーム



※ 占用者以外の施設利用については検討中

## 効果と今後の展開

- ・「豊平川ウォーターガーデン」には、遊水路や遊具が設置され、夏には多くの家族連れが訪れる。
- ・環境教育イベントの開催や民間事業者による飲食物等の販売、休憩施設等の利便施設の充実により、レクリエーション・レジャー空間としての活用促進を図る。

# 都市・地域再生等利用区域の事例（信濃川）

区域名称	信濃川やすらぎ堤
概要	新潟市中心市街地を流れる信濃川のやすらぎ堤（緩やかな法面勾配（5割）の堤防）や萬代橋は、新潟市のシンボルである。その素晴らしいロケーションを活かしたイベントの実施や飲食店の出店等により、賑わいと憩いの場が創出され、河川区域を含む萬代橋周辺地区の一層の活性化と新潟市の魅力・活力の向上が図られる。
河川管理者	北陸地方整備局長
水系名・河川名	1級・信濃川水系・信濃川
指定範囲	萬代橋～八千代橋間の信濃川左右岸及び水面
指定日	H28.2.25
占用主体	新潟市長
占用施設	広場、イベント施設、遊歩道、船着場、前述に掲げる施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明、音響施設、切符売場、案内所、船上食事施設、等
合意方法	信濃川やすらぎ堤利用調整協議会
許可期間	3年
関連URL	北陸地方整備局HP <a href="http://www.hrr.mlit.go.jp/river/toshitikiisaisei_shitei/yasuragitei/index.html">http://www.hrr.mlit.go.jp/river/toshitikiisaisei_shitei/yasuragitei/index.html</a>

## 位置



## 水辺の様子

新潟中心部の憩いの場となっているやすらぎ堤



“やすらぎ堤の出店状況”



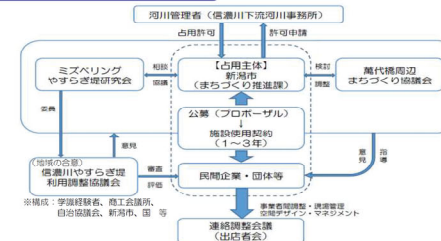
民間事業者によるミズベの創出



イベント実施状況



## 事業スキーム



## 利用者数

店舗数	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
	右岸：9 左岸：2	右岸：13 左岸：1	右岸：11 左岸：1	右岸：6 左岸：1

利用者数	H28(推計)	H29(推計)	H30(推計)	R1(推計)
7月	12,000人	13,000人	16,500人	17,100人
8月	10,000人	12,600人	12,300人	14,100人
9月	8,000人	8,700人	5,000人	9,100人
10月	-	-	1,500人	-
計	30,000人	34,300人	35,300人	40,300人

## 効果と今後の展開

- 占有主体である新潟市が公募により選定した民間事業者等と使用契約を結び、オープンカフェや売店等の店舗営業やイベントを開催している。
- これにより、人々の関心や動きがやすらぎ堤周辺に集まるようになり、“ミズベ”から“まちなか”へと賑わいの広がりに期待が高まっている。
- 今後、より民間事業者が主体性を発揮できる体制を構築し、さらなる賑わいの創出を目指している。